

資料

効果的な学校図書館の定義 (ポジション・ステートメント) 注 1)

瀬戸口 誠

(梅花女子大学教授)

Definition of an Effective School Library (position statement)

By Makoto SETOGUCHI

(Professor, of Baika Women's University)

1 はじめに

アメリカ学校図書館員協会 (American Association of School Librarians, 以下 AASL) によって 2018 年に作成された「効果的な学校図書館の定義」(Definition of an Effective School Library) というポジション・ステートメント (position statement) がある。その中に、「2015 年に制定された『すべての生徒が成功する法』(Every Student Succeeds Act) の中で『効果的な学校図書館プログラム』(effective school library programs) の用語が数か所に使われているが、その定義はなされていない。AASL がそれを補強するために公表しているのがこのポジション・ステートメントである」と記している。以下に、その本体部分を訳す。

「効果的な学校図書館の定義」(Definition of an Effective School Library) の本体部分

AASL は、効果的な学校図書館とは資格のあるスクール・ライブラリアンが実権を握り、個人的な学習環境を準備し、そして全ての生徒に幅広い教育を保障すべく資源 (リソース) への平等なアクセスを提供する図書館のことである、という考え方を支持する。大学、キャリア、コミュニティの一員になるための基本的な構成要素としての効果的な学校図書館は、

1. 州認定のスクール・ライブラリアンをはじめ適切な職員を配置している。そして、スクール・ライブラリアンは以下の役目を担わされている。
 - (a) 教授の際のリーダー (instructional leader) で、かつ教員であること。
 - (b) デジタル学習、参加型学習、探求型学習、技術リテラシー、及び情報リテラシーの育成支援をしていること。
 - (c) ガイダンスや読書の動機を高めるための取り組みを通じて、リテラシー経験を支援、補助及び高めている。
2. 公に利用が認められた教育資源の収集を含め、最新のデジタル資料や印刷資料、技術を有している。

3. 専門能力を高めるための定期的な研修や学級担任教員とスクール・ライブラリアンの協働の機会や場を提供している。

効果的な学校図書館は、全ての学習者にとってアクセスと機会のギャップを埋める活発な学習環境として機能する。スクール・ライブラリアンのリーダーシップの下、学校図書館は現実世界の出来事とクラスでの学習を結びつける情報資源や技術へのアクセスを提供する。適切に管理された情報資源を提供することによって、学校図書館は学術的な知識がより深い、個人化された学習に結びつくことを可能とする。学校図書館の拡張された学習環境は、個々人固有の関心やニーズを満たすことを可能とする。このようにして、効果的な学校図書館によって、学習者は、大学、キャリア、生活のための準備をする。

認定されたスクール・ライブラリアンのリーダーシップの下、効果的な学校図書館は、幅広い教育プログラムを提供する。学校図書館は、デジタル学習のための訓練や経験を提供しながら、情報にアクセス・評価することや読書文化を発展させることに焦点を当てる。学校図書館は、多様な活動とそれに関連する情報資源を利用する。強固な学校図書館は、高品質かつ公に利用が認められたデジタル媒体と印刷媒体両方の情報資源、技術ツール、そして高速なアクセスを有する。この環境は、全ての学習者にとっての平等な学習機会を提供するのに不可欠である。24 州にまたがる 60 以上の研究によれば、図書館の予算規模、スタッフレベル、蔵書規模、及びスクール・ライブラリアンの教育的役割のすべてが生徒の成果に直接的な影響を与えている。

効果的な学校図書館において、スクール・ライブラリアンは、リーダー、教授上のパートナー、インフォメーション・スペシャリスト、教員、及びプログラム管理者としての役割を果たす。学級担任の教員と協働して、スクール・ライブラリアンは全ての学習者のための情報リテラシーやデジタル・リテラシーの教育を発展させる。教授上のリーダーとしての役割を果たすことによって、スクール・ライブラリアンはカリキュラム上の決定に貢献し、専門職の学習を促す。加えて、図書館プログラム管理者として、スクール・ライブラリアンは図書館を監督・管理し、学校やコミュニティのパートナーと協働する。これらのパートナーシップは、全ての学習者にとって拡張かつ改良された情報資源やサービスを生み出すことにつながる。

効果的な学校図書館は、デジタルデバイドや社会経済的な分断を是正するのに重要な役割を果たす。州認定の専門職が配置された学校図書館は、全ての学習者の幅広い教育に不可欠な親しみの持てる、公平な、個人に合わせた学習環境を提供する。

2 おわりに

以上、AASL によって 2018 年に作成された *Definition of an Effective School Library* の本体部分を訳して紹介した。特徴的なことは、スクール・ライブラリアンの重要性が強調されていることである。AASL は、このポジション・ステートメントの他にも、「学校図書館における適切な職員構成」(Appropriate Staffing for School Libraries) を 2019 年に作成していて、AASL は学校図書館における「人」の重要性を強調している。日本の学校図書館における「人」のテーマを議論する際に参考になればと思い、訳して紹介した。

注

- 1) American Association of School Librarians, *Definition of an Effective School Library*. 2018.
<http://www.ala.org/aasl/sites/ala.org.aasl/files/content/advocacy/statements/docs/AASL_Position_Statement_Effective_SLP_2018.pdf>.
[引用日: 2021-3-22]